



● 第14回通常総会開催 **新平成21年度のテーマは「経済・産業界の政令指定都市移行」**

相模原のセールスポイントの探究、未来を切り開く小中学生への提言

平成 21 年 4 月 22 日(水)午後 5 時から相模原市産業会館に於いて、「第 14 回通常総会」が開催されました。都市産業研究会では昨年度まで定期総会を毎年 5 月に開催しておりました。しかし、本年度は事業年度との整合性を図る為、4月に定期総会を開催致しました。通常総会では、昨年度と同じ役員体制が承認され、本年度の事業・予算についても原案通り承認されました。本年度も皆様のご協力を宜しくお願い致します。(中村昌治)



通常総会: 中村会長

通常総会

昨年度の報告として「さがみはらの新たな魅力と問題点の発見・発掘と発信をテーマに活動してきた。また、提言書に関して興味を持って下さる方が多く、当会の活動が評価された。今後も積極的に PR していきたい。」と原副会長。本年度事業計画として「政令指定都市への移行が目前まで迫っている。また、リニア中間駅の誘致など、大きな発展が期待できる都市である。一方、世界的不況に加え少子高齢化への対応も求められる。知識・ネットワークをフル活用し、相模原市と産業界の発展の為、調査・研究を行います。」と中嶋副会長。スタートで躓いた前期を反省し、今期は鮮やかなロケットスタートを決めたいところ。日本、否、宇宙に向けて「相模原」の魅力を発信して行こうではありませんか! (唐澤章三)



講演会: 加山市長

講演会

講演会に先立ち公務繁忙の中、加山市長から、都市産業研究会に対する激励のお言葉を頂きました。講師は前神奈川県商工労働部商業観光流通課観光室長の古谷幸夫氏に、観光振興の視点から「外からみた相模原の魅力について」と題してご講演。観光を産業と捉えて考えることが必要。観光産業は、宿泊、交通、観光関連、製品・食品・農産物そして雇用を生み地域活性に寄与する。その為に情報発信、観光統計に基づくマーケティングの重要性について説かれていました。大変に参考になりました。ありがとうございました。(中嶋幸夫)



講師の古谷氏

懇親会

河本会頭のご挨拶、町田ドリーム 10(テン)武藤会長のご祝辞の後、乾杯! アルコールが入るにつれ、あちらこちらのテーブルで交流が盛んにもたれていました。懇親会の司会をされていた体格のよい原副会長が特に活き活きとされていました。盛会のなか無事中締めとなり、お開きとなりました。講演会に引続き多くの来賓の方々、会員の皆様に参加頂きありがとうございました。(小野 弘)

懇親会風景
(副会長はどこにいるでしょう)



5月の定例会のご案内
日 時:5月24日(日) 14:00~(集合 13:45)
集合場所:相模原市立博物館 <http://www.remus.dti.ne.jp/~sagami/index.htm>
テーマ:「相模原の歴史について」
相模原市に住んで、あるいは関わっているが、相模原の歴史や成り立ちについて意外と知らないことが多いように思います。外の人間に相模原は、どのような歴史があり、どのような特徴があるのか説明を求められたときに、答えに窮してしまわないよう、勉強会を行いたいと考えております。もうすでにご存知のことも多いとは思いますが、新たな発見もあるはず。この機会に「相模原」を学んでみてはいかがでしょうか。(担当:原 保美、白井憲二)
○活動にご興味をお持ちの方は、事務局(TEL042-753-8131)まで

編集室より: さくら祭り参加報告。満開の桜を愛でる中、会員や市長を始め市民の方々との交流も出来ました。参加ブースでのお酒や卵もおいしくいただきました。拝

平成21年度行事予定	
4月	通常総会、さくら祭り参加
5月	相模原の歴史について(博物館)
6月	コンパクトシティについて
7月	藤野里山視察(宿泊)
8月	地産地消について考える
9月	リニア市内中間駅について考える
10月	政令指定都市視察、城山もみじまつり参加
11月	自立都市のまちづくりについて
12月	人口減少と子育て支援の今後
H22年1月	新年会・提言書の作成
2月	提言書の作成・次年度の準備
3月	提言書の作成・次年度の準備